

未来のまちをつくるあなたの声への回答について

投函日	令和5年5月26日
投函者	80代 男性
投函方式	ホームページから投函
返信希望の有無	有
ホームページ等への掲載の可否	可
【内容】 奥大山農業公社（以下公社と略称します）の拡大と発展 私は空き店舗を大家様から借り受けて内装設備を付加し、飲食店開業者へ包括的転貸又は経営委託する都市の事業者です。定着者（盛業見込み者）には大家さんとの直接意向を打診し、大家さんが受け入れれば直接の賃貸借契約への移行になります。その際は当社が投資した初期投資の残高での精算が条件となっています。ホームページの公社を高齢化農家からの作業受託中心から新規参入者誘致特化の「農業リース」事業への取り組みをご提案したい。例えば、新甘泉梨栽培への新規参入を農地の幹旋からでなく、苗木の定植から果実の収穫ができる母樹化までの三年間を公社が担い（初期投資負担）、果樹園経営への「母樹付きの包括的経営委託」で新規参入者を誘致すれば、新規参入年度から収穫収入が見込めます。勿論、農地賃料（農地バンクの転貸料の相当する金額）を含む母樹付きの包括的委託料になります。県の農地バンクとの事前協議及び合意で、経営委託期間は3年以内とし、母樹代金等公社が投資した費用を支払えば農地バンクとの直接契約移行となる特約付きの「つなぎの事業」としたい。それは町の投資資金には限界があり、多くの業態で新規参入者を貴町に迎え入れたいからです。問題点は当初の新規参入者が定着者（盛業見込み者）となってもらえるかどうかの公社側の不安です。母樹はそのまま残り当初の受託者だけが撤退した公社による「つなぎの経営」にもただの農地と違い採取収穫収入が継続されることです。その間に、改植等により又はその付加価値化を条件に次なる新規参入者を再募集することになります。大事なことは果樹園経営だけで生計が維持できたか否かの判断で、次の新規参入者の複合的参入手段を提供されることが大事です。その複合的経営に例えば、地域畜産団体との共同管理運営による共用放牧場付き区分貸し合同牧舎を設け、和牛肥育専門の協働作業で複合化しやすい施設としたい。又跡取りのない肉用牛畜産農家を招致し、新たな資産移譲のない第三者継承施設としたい。これからの新規参入者誘致は過大な債務を負わせない参入手段を提供し、できるだけ多くの若い人材を誘致し、その業態での定着・盛業者となれなくても、地域に必要な人財として定住し続け、地域に残ってもらえる環境への制度改革や転換が各自治体ごとに求められているように思います。	

【回答】

この度は奥大山農業公社事業につきまして、ご提案をいただきありがとうございます。
果樹施設について、既に梨園整備・管理につきましては計画策定をしています。併せて就農予定者の研修も開始している状況です。
ご提案内容については、今後の事業に参考とさせていただきたいと思います。

【お問い合わせ先】

江府町役場産業建設課

電話番号 0 8 5 9 - 7 5 - 6 6 1 0